

事業所名

見附わくわくフレンズ

わくわくフレンズ支援プログラム

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念		☆みんながわくわくするような体験を通して成長に繋がっていきます☆									
支援方針		・集団で過ごす中で日常生活における基本的なルールやマナーを身につける。 ・事業所で過ごす時間が楽しく、わくわくした気持ちで通所できるような環境や支援計画を立て、ひとりひとりの特性を伸ばすことができるように計画し、実行します。									
営業時間		平日 学校休業日	学校終了 9時	00分	から	18時 17時	00分 00分	まで	送迎実施の有無	あり	学校へのお迎え・拠点送迎
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	・基本的な身辺自立の支援（食事・排泄・片付け・衣類の着脱・整理整頓など） ・生活力、自立の向けての支援（お金の計算・家電の使い方・掃除など） ・時間を見て行動する力（時計を読む力） ☆毎回の健康状態の把握（怪我の有無や体調の変化など）・長期休み期間の調理実習計画									
	運動・感覚	・正しい姿勢を保つ練習（宿題時の姿勢・話を聞く姿勢など） ・感覚の総合的な活動（サーキット・トランポリン・鬼ごっこ・バランスボール・ドッチボール・音楽に合わせて踊る、など） ・手先の支援（療育グッズの活用・マッチング・パズル・ブロック・粘土・スライムなど） ☆長期休暇時ははじまりの会時に体操や体を動かす、起こす活動を取り入れる									
	認知・行動	・言語の支援（物の色や用途・色・対義語） ・物の大小や数量などの取得（学習プリントなど） ・自分から行動する力（集団でのルールの認知・買い物に行く・外に出た際の季節の変化） ☆1年を通して季節に合った様々な行事を経験できる活動の計画・リスクマネジメントの強化									
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーション、対人関係の支援（SSTカードの活用・場面にあった言葉選び・トラブル時の対応方法） ・指さし、サイン、手話、絵カードを活用した非言語的コミュニケーションの支援 ・自分の気持ちの具現化（気持ちの整理方法・相手への伝え方） ☆受容言語と表出言語支援（クールダウン時の個別の対応・気持ちの代弁など）									
	人間関係 社会性	・自己理解と気持ちのコントロールのための支援（集団活動、あそびを通して勝ち負けなどの気持ちのコントロール、クールダウン後の自分の自己分析） ・公共交通機関での外出（横断歩道や信号の理解・公共交通機関の乗り方・お店でのマナー・気温にあった服装・体温調節など） ・集団活動を通し、友だちと協力して何かをやり遂げる喜びや達成感、成功体験を積む。 ☆社会資源への参加の計画（公共施設への外出・公園・図書館・社会見学など）									
家族支援		・日常生活を送るにあたり、家庭での困りごとや進路相談、地域の相談場所や社会資源が足りているかを確認しながら必要に応じてアドバイスを行う。 ・兄弟や姉妹がいる家庭についてはケアなどの情報を与えるようにする。				移行支援		・進路相談や高校卒業後の生活を送るにあたり、地域の生活の場や育ちの場との交流と情報を交換し、保護者や本人にも情報を提供する。 ・地域とのかかわりを持ち、日常生活を送るために近隣住民との交流			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や学校、市役所などの連携 ・市内のサービス管理者情報交換会への参加 ・行事やボランティア、社会見学などへの参加、交流				職員の質の向上		・職員の各種研修会や勉強会・セミナーへの参加 ・虐待防止・身体拘束の研修への参加 ・児童発達支援管理責任者や保育士資格等の取得支援			
主な行事等		保護者参加： ☆夏祭り（8月土曜日） ☆クリスマス会（12月日曜日） ☆保護者会（年2回実施） 日々の活動： ☆誕生日会 ☆お正月 ☆節分 ☆ひなまつり ☆七夕 ☆長期休暇の外出（市外） ☆ハロウィン ☆クリスマス						◎避難訓練（月2回） →安全計画に則り実施			